



令和 8 年度 事業計画

社会福祉法人みどりの樹

もくじ

法人全体	2
多機能事業所ループ	11
多機能事業所ループ奏	13
生活介護事業所さつき	15
生活介護事業所まつぼっくり	16
放課後等デイサービス事業所あざみ	18
日中一時支援事業所あるば	19
はまきた地域活動支援センター	20
相談支援事業所ぼるた	21

社会福祉法人みどりの樹 令和8年度事業計画

はじめに

本年度は、令和9年度の完成を目指す「さつき」「まつぼっくり」両事業所の建て替えに向けた施設整備が本格的に進む重要な一年となります。長年地域に根ざしてきた事業所として、これまで以上に安心してご利用いただける環境を整えるべく、安全性、機能性、地域連携を考慮しながら整備を進めてまいります。これらの整備を通じて、利用者の皆様がより豊かに過ごせる場をつくるとともに、地域にとっても信頼される存在であり続けたいと考えております。

令和8年度も、職員一同が一丸となり、利用者一人ひとりのニーズに寄り添った質の高い支援を提供し、基本理念の実現と地域づくりに向けて歩みを進めてまいります。皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

理事長 伊藤基久

基本理念 誰もが生き生きと暮す街に

障がいがあってもなくても誰もが生き生きと暮せる街づくりの一端を担う

行動指針 スマイル & ネバーギブアップ

- ・利用者の笑顔・お客様の笑顔が、私たちの元気の源です
- ・利用者主体の視点を大切にします
- ・質の高い商品をお客様に提供します
- ・何事にもあきらめずに取り組むことを約束します

令和8年度職員スローガン 「成果」「結果」を意識して取り組もう

より良い支援を求めて、より良い地域を目指して、主体的にアクションすることはとても大切なことですが、そのアクションの目的を見失わずに、成果や結果により目を向けることを心がけます。そのアクションによって何がどう変わったのか、想像通りの結果を得られたのか、アクションしたことに満足せず、その後の検証を丁寧に行っていくことを意識します。

重点取り組み① 建物老朽化対策と、ハード面整備による質の高い支援の実現

さつきとまつぼっくり両事業所は、令和9年4月から新しい建物での活動を開始できるよう建物の新築工事の計画を進めています。これまで30年強、作業所時代から積み上げてきたものを大切にしながらより質の高い支援を実現できるハード面整備を主眼に進めていきます。

重点取り組み② 防災対策のより一層の強化

令和7年度に、防災をテーマに職員全体研修を行いました。今年度は研修で得られた防災意識をもとに、防災訓練の在り方を強化していきます。例年行っている各事業所の訓練に加え、法人合同での訓練の実施、地域との協働や被災後の安否確認の手段の徹底等にも力を入れて取り組んでいきます

重点取り組み③ 人材育成に向けた取り組み

－１ 法人倫理綱領の理解促進と権利擁護意識の徹底

前年度に引き続き、毎月ごとに倫理綱領を条文ごとに丁寧に向き合っていく取り組みを行います。倫理綱領の理解促進を図ることで、虐待の防止を含めた、支援者としてのあるべき姿を全職員で共通認識にしていくことを目指します。

－２ 新任職員の研修・学びのパッケージ化

特に新卒者に向けた、組織の一員として求められる職員像と支援者として目指すべき姿をきちんと認識して、自己研鑽に励めるような土台作りの仕組みを構築することを目指し、そのパッケージ作りに取り組み、実運用を目指します。

－３ 個別支援計画書の質の向上

サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者を中心に、今一度、計画書作成プロセスを丁寧に点検し、計画の中身の質を上げていくための機会を設けます。必要に応じ、外部講師を招くなどし、学びを深めていきます。

重点取り組み④ 自立支援協議会をはじめとした地域活動への積極的関与

今年度も、浜松市障がい者相談支援センター事業について、浜北エリアと天竜エリアの２エリアに職員を派遣します。委託センターの機能としての地域づくりはもちろんのこと、各通所サービスや計画相談も目の前のケースワークに注力することに留まらず、様々な地域の活動に積極的に参画していきます。今年度は特に、自法人の地域に求められている役割を意識し、自分たちができること、持っている強みをしっかり地域に発信し続けていくことを重要視していきます。

事業種類・定員

事業所名	種別	事業内容（事業名称）	定員	計
多機能事業所ループ	指定サービス	就労移行支援事業（ライム）	6	30
		就労継続支援 B 型（ライム・なないろカフェ）	24	
多機能事業所ループ奏	指定サービス	生活介護事業（るるる）	10	20
		就労継続支援 B 型（ららら）	10	
さつき	指定サービス	生活介護事業	20	
まつぼっくり	指定サービス	生活介護事業	20	
本部拠点	指定サービス	放課後等デイサービス事業（あざみ）	10	
		特定相談支援事業（ぼるた）	—	
	浜松市地域生活支援事業	日中一時支援事業（あるば）	7	
		地域活動支援センター I 型	(20)	
	派遣	浜松市浜北障がい者相談支援センター 浜松市天竜障がい者相談支援センター	—	

職員

	計	男	女	平均年齢
常勤職員	32 人	9 人	23 人	39.5 歳
非常勤職員	31 人	7 人	24 人	62.1 歳
計	63 人	16 人	47 人	53.4 歳

職員配置（令和 8 年 4 月 1 日時点）

	ループ	ループ 奏	さつき	まつぼ っくり	あざみ	あるば	特定 相談	地活	相談 派遣	合計
統括管理	1									1
施設長	1	1	1	1	1	1	1	1	—	7
常勤	専従	4	3	4	2	3	0	1	2	21
	兼務	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非常勤	専従	6	5	8	3	3	0	1	1	33
	兼務	1	2	1	2	1	1	0	0	5
常勤換算	9.2	6.3	8.8	5.0	5.1	0.9	2.5	2.6	2.0	42.4

利用者数（計画値）

事業名	定員	R7 年度平均 利用者数（人/日）	R8 年度計画 利用者数（人/日）	R7→R8 対比	R8 年度 稼働率見込
就労移行支援	6	0.0	0.0	±0.0	0.0%
就労継続 B 型 （ライム・なないろカフェ）	24	21.8	23.0	+1.0	95.8%
生活介護（さつき）	20	19.0	19.0	±0.0	95.0%
生活介護（まつぼっくり）	20	11.0	13.0	+2.0	65.0%
生活介護（るるる）	10	9.1	9.2	+0.1	92.0%
就労継続 B 型（ららら）	10	8.2	8.3	+0.1	85.0%
放課後等デイサービス	10	8.7	10.0	+1.3	100.0%
日中一時支援	7	3.2	3.5	+0.3	50.0%
地域活動支援センター	(20)	8.8	10.0	+1.2	—
特定相談	—	56.5	50.0	△6.5	—

※特定相談の数値は、月の平均件数

※R7 年度は R8 年 2 月末までの実績値

資金収支予算規模

	収入	支出	収支差額
事業活動による収支	314,150 千円 (300,784 千円)	297,435 千円 (283,245 千円)	16,715 千円 (17,539 千円)
施設整備等による収支	224,000 千円 (1,180 千円)	297,668 千円 (25,128 千円)	△73,668 千円 (△23,948 千円)
その他の活動による収支	0 千円 (0 千円)	483 千円 (442 千円)	35,217 千円 (△442 千円)
当期資金収支差額	—	—	△22,136 千円 (△7,451 千円)

() 内は、令和 7 年度当初予算

施設整備、大規模修繕、固定資産整備計画

事業所名	種別	金額 (円)	詳細	財源
ループ	固定資産	250,000	刺繍ミシン用ブース設置	自己資金
ループ奏	なし			
さつき	施設整備	155,000,000	建物新築費用	自己資金＋国庫補助金＋借入金
まつぼっくり	施設整備	129,300,000	建物新築費用	自己資金＋国庫補助金＋借入金
本部拠点	修繕	1,000,000	あざみ園庭のテラスデッキ修理	自己資金
合計		285,550,000		

借入金計画

借入先	借入額	借入拠点区分	返済期間	用途
福祉医療機構	60,000,000	さつき・ まつぼっくり	15 年	建物新築費用として
静岡銀行	40,000,000		20 年	建物新築費用として

借入金償還計画

借入先	当期償還額	利息	利息補給	当期末残高	使途
福祉医療機構	6,072,000	448,000	0	44,022,000	本部拠点建物新築工事
静岡銀行	3,816,000	169,000	160,000	6,664,000	
静岡銀行	3,480,000	550,000	0	43,090,000	ループ奏新築工事

会議等

会議名	構成員	頻度／時期
理事会	理事、監事	5月、11月、3月
評議員会	評議員、監事、理事長、業務執行理事	6月、3月
評議員選任・解任委員会	理事長、業務執行理事、委員	適宜
経営会議	理事長、統括管理責任者、事務長	月1回、適宜
施設長会議	理事長、統括管理責任者、事務長、施設長	毎月 第1月曜
法人全体会議	理事長、常勤職員	6月、11月、3月
職員会議	部門ごと、所属職員	部門ごとに設定
監事監査	監事、理事長、業務執行理事他	5月、11月
苦情解決委員会	業務執行理事、監事、コンプライアンス委員	年1～2回、適宜

委員会活動

委員会名	内容
虐待防止委員会	・虐待防止研修の企画立案、権利擁護意識の促進 ・虐待案件発生時の事後対応の主導 ※身体拘束適正化委員会を兼ねる
感染症対策委員会	・感染症対策にかかる研修の企画立案 ・感染症の実情把握と予防の徹底・周知
防災委員会	・法人全体防災訓練 ・救命救急講習 ・BCP内容点検 ・安否確認報告定期訓練 ・災害への備え定期チェック
研修委員会	・法人全体研修の企画・立案 ・法人内事例検討会の実施 ・外部研修報告動画作成
コンプライアンス委員会	・倫理綱領の理解促進・ヒヤリハット、事故報告、苦情集計 ・苦情解決について再考・ストレスチェックの継続・虐待防止委員会への参画
広報成委員会	・みどりの樹機関紙（わだち）の定期作成・発行 ・法人ホームページのリニューアル ・SNS発信促進

ワーキンググループ

常設の委員会活動に加え、重点取り組みをより具体的にしていくためにワーキンググループを設置します。限定的なミッションについて、有期限の中で成果を上げていけるよう組織します。

委員会名	内容
施設整備計画 WG	・ 移転、新築等建物整備計画の主導 ・ 資金計画等の立案、進捗管理
強行支援推進 WG	・ 強度行動障害の状態にある人への支援の質の向上 ・ 状態に合わせた支援計画シートや手順書の見直し
M ラーニング 企画運営 WG	・ 研究実践者の選定とそのサポート ・ 法人内研究報告会の企画立案
Special Learning 管理 WG	・ Special Learning の活用、定着 ・ 職員別研修パッケージの進捗管理

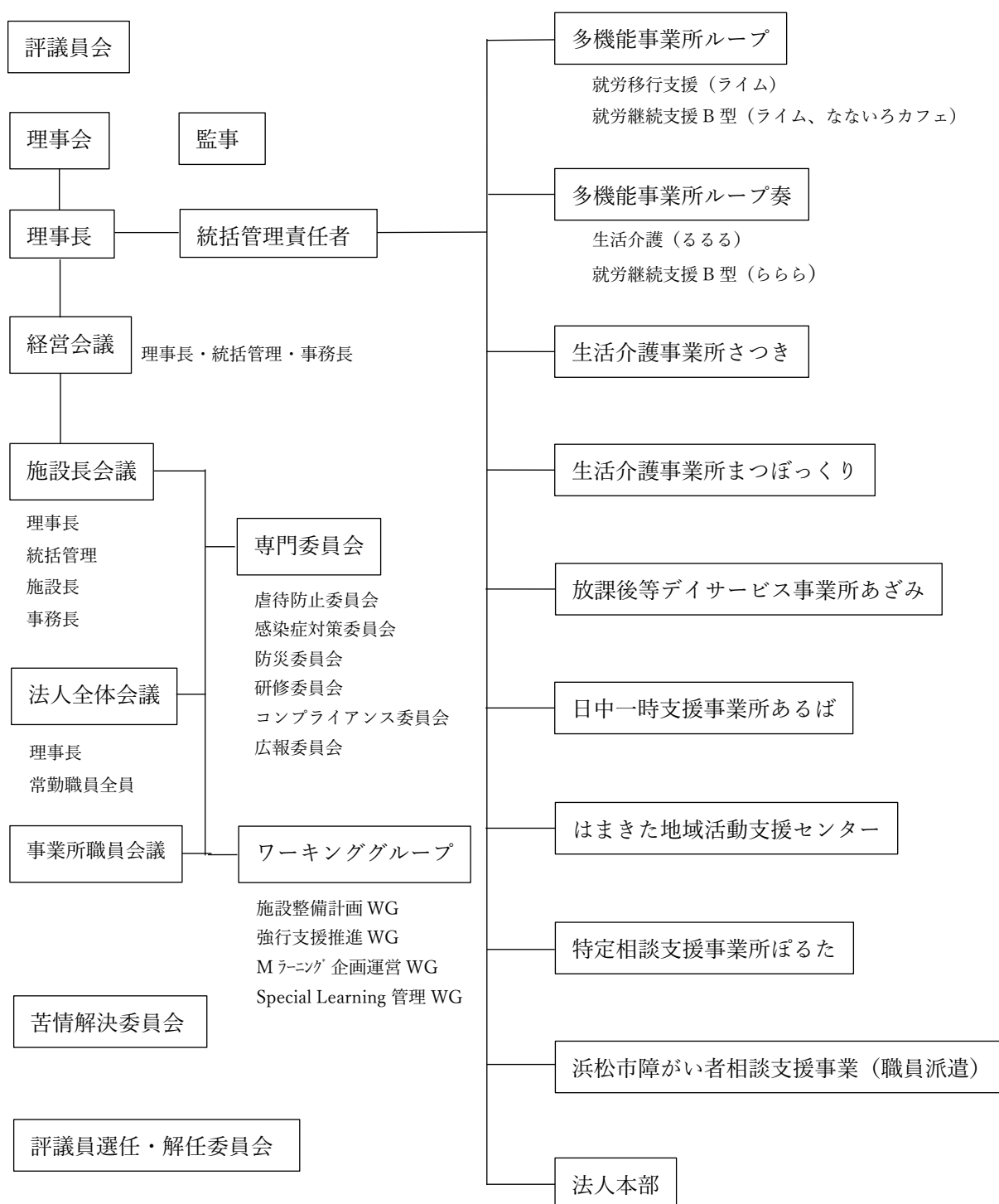
職員研修計画

事例検討会	年 4 回	みんなで検討する経験を通して、考え抜く力・議論する力をつける。 また広い視野を得て新鮮な気持ちで明日の支援に向かえるようにする 回数を重ねていく中で、当たり前前の習慣にしていこうを目指す
虐待防止研修	年 1 回	虐待防止委員会が主催し、委員会の中で抽出された課題への取り組み や職員全体の意識の向上を目指す。 ※身体拘束等の適正化も兼ねて開催
感染症対策研修	年 2 回	感染症対策委員会が主催し、特に手洗いの方法の徹底や嘔吐物処理など 具体的実践につながる手法のスキルアップを目指す。
法人全体研修	年 1 回	研修委員会にて企画立案し、職員全体のスキルアップ、組織力を向上 させることを目的に行う。
階層別研修	適宜	Special Learning を活用し、キャリアパスの要件で設定されている階 層ごとの研修パッケージを年度内に受講する。
外部研修・その他	適宜	法定研修をはじめ、自立支援協議会が発信するものや、その他の外部 研修の情報について、必要に応じ積極的に参画する。
外部研修報告会	年 2 回	外部研修参加者が研修内容の報告発表することによって、個々の学び を深め、知識・情報を法人全体で共有する。動画撮影によるオンデマ ンド方式も適宜活用し、プレゼンテーション経験の機会にもする

地域における公益的な取り組みの推進

地域で活動する人や団体、地域に暮らす人々が顔を合わせ、気軽に言葉を交わす中で自然なつながりを育んでいくことを大切に、今年度も「照個屋」を開催します。このイベントを通して、参加者が地域の活動や障害福祉をより身近に感じ、「また参加したい」「一緒に何かをしてみたい」と思えるきっかけを広げていきます。さらに団体同士の新たな協働へとつながる動きが生まれることも期待しています。今年度も遠鉄浜北駅の駅前広場という開かれた場所で開催し、出会いを一過性で終わらせず、継続的な関りへとつなげていきます。

法人組織図



行事計画（予定）

月	対外活動、レクリエーション企画	防災訓練 ほか
4	・お花見（まつぼっくり、ループ奏） ・保護者会（さつき） ・はじめての会（あるば・あざみ）	・あざみ避難訓練
5	・保護者会（まつぼっくり） ・ヤマ発浜北工場まつり（まつぼっくり） ・みんなでGWを楽しもう（さつき） ・子どもの日の会（あるば・あざみ）	・さつき避難訓練（水害） ・あざみ・地活合同避難訓練
6	・ミニミニシアター。運動会（あるば・あざみ） ・日体祭（まつぼっくり）	・防災訓練（地震想定） ・あざみ避難訓練 ・感染症対策委員会
7	・七夕会（まつぼっくり、さつき）	・あざみ避難訓練
8	・暑気払い、大掃除（ループ、ループ奏） ・夏まつり（まつぼっくり） ・お掃除&お疲れ様会（まつぼっくり） ・みんなで夏を楽しもう（さつき） ・外食体験・買い物体験出張駄菓子屋（あるば・あざみ）	・あざみ避難訓練
9	・ふれあいレクリエーション大会（ループ、ループ奏、さつき、まつぼっくり） ・お月見会（あるば・あざみ） ・地域交流会（ループ） ・日帰り旅行（ループ奏）	・さつき避難訓練（地震火災） ・あざみ避難訓練 ・感染症対策訓練 ・感染症対策委員会
10	・照個屋 ・浜北ふれあい広場（ループ、ループ奏、さつき） ・ふれあいコンサート（ループ、ループ奏、さつき、まつぼっくり） ・天竜厚生会まつり（ループ、さつき） ・友愛の里まつり（さつき） ・善地おまつり（まつぼっくり） ・ハロウィン（ループ、あるば・あざみ）	・あざみ避難訓練
11	・元気ライブ（ループ奏、さつき、まつぼっくり） ・浜北合同スポーツ交流会（ループ、ループ奏、さつき、まつぼっくり） ・中瀬協働センターまつり（まつぼっくり） ・北浜南部協働センターまつり（まつぼっくり） ・焼き芋会（あるば、あざみ）	・あざみ・地活合同避難訓練
12	・クリスマス会（法人合同） ・大掃除（各事業所） ・お疲れ様会（さつき、まつぼっくり） ・クリスマス会（あるば・あざみ）	・地域防災参加 ・あざみ避難訓練 ・感染症対策委員会
1	・初詣（まつぼっくり、ループ奏、さつき） ・保護者交流会（ループ奏） ・浜松ふれあいフェスタ（まつぼっくり） ・かるた大会・福笑い（あつば・あざみ）	・あざみ避難訓練
2	・豆まき（ループ、まつぼっくり、さつき、あるば、あざみ） ・下阿多古ふれあいセンターまつり（まつぼっくり）	・防災訓練（火災想定） ・あざみ避難訓練
3	・日帰り旅行（まつぼっくり） ・保護者会（ループ） ・ひなまつり会（あるば・あざみ） ・卒業生を送る会（あるば・あざみ） ・がんばりましたの会（あるば、あざみ） ・みんなでありがとうの気持ちを込めてクッキーを渡そう（さつき）	・あざみ避難訓練 ・緊急連絡訓練（職員） ・感染症対策訓練 ・感染症対策委員会

多機能事業所ループ

基本方針

就労移行支援（ライム）

2年間の有期限の中で、一般企業への就職を目指す方の職業訓練・就職活動支援・定着支援・就労後のフォローアップなどを行います。ハローワークなどをはじめ、関係機関との連携を生かし、マッチングを最重要ポイントとして取り組んでいきます。

就労継続支援B型（ライム、なないろカフェ）

一般企業ではたらくことが困難な方が、自分らしく能力を発揮してはたらくことができるように支援していきます。生産活動を行う中では、利用者の所得保障という視点でできるだけ多くの工賃をお支払いできるような営業展開をしていきます。

具体的活動内容

就労移行支援（ライム）

ライム内での作業訓練を基軸に、生活リズムの安定を図りながら、あいさつ・返事・報告などから職業スキルの習得に取り組みます。就職活動に関しては、ハローワークの登録から面接まで可能な限り同行し、サポートをしていきます。また、就労後のフォローアップでは、他事業との連携や制度の活用を通して、現場訪問や生活支援などを丁寧に行っていきます。

就労継続支援B型（ライム、なないろカフェ）

（就労訓練活動）

利用者のやりがいや積極性につながるよう、さまざまな作業に取り組むことができるような活動を心がけます。

- ・弁当製造販売…地域のニーズに寄り添い、徹底した衛生管理による安心安全のおいしいお弁当をお届けできるよう努めます。
- ・下請作業…取引先との取り交わしを守り、責任感を持ち、納期、精度を意識して作業に取り組めます。取引先から信頼される活動を心がけます。
- ・刺繍製品…利用者の文字や絵を刺繍として形にし、製品化します。なないろカフェの販売の他に、地域への展開の仕方を検討していきます。
- ・喫茶業務…地域のみなさまに向け、サイネージを使用した商品紹介を行い、また限定メニューやイベント開催など、レパートリー豊富な営業展開を心がけます。

（レクリエーション活動その他）

利用者のやりたい、行きたいという思いを取り入れたレクリエーションを土日中心に展開します。また、七夕や節分といった季節の行事を活動時間内に行うことで、楽しむ時間を作り、はたらくことへのモチベーションにつなげていきます。他に、地域のみなさまを招いたイベントを開催することで、事業所の活動を広く周知し、地域に開かれた信頼される運営を目指します。

重点目標

1) 利用者支援について

就労移行支援（ライム）

- ・日々のかかわりやアセスメント、定期面談や特化プログラム SSP を通して、その人を知り、その人がどうなりたいか、どんなはたらき方をしたいのかを一緒に考えます。
- ・企業または他事業所の見学や体験、実習を通して、自分らしいはたらき方やはたらく場所を探し、見つけ出します。
- ・就職後も、自分らしく、自信をもってはたらき続けられるよう、アフターフォローを丁寧に行います。

就労継続支援B型（ライム、なないろカフェ）

（ライム）

- ・作業の幅を広げ、やりがいにつなげることができるように、作業工程を分解し、さまざまな作業を提供していきます。
- ・一人ひとりの好きなこと、得意なこと、不得意なことその人らしさを見つけ、利用者の“なりたい”“やりたい”“がんばりたい”を引き出し、伸ばしていくことができるよう、支援計画書の見直し、整備をしていきます。

（なないろカフェ）

- ・定期的に利用者参加型のミーティングを開催し、作業手順の確認や想いの共有をし、互いに支え合い、高め合えるチーム体制の構築に努めます。
- ・刺繍ミシンの移設に伴う作業など新たな作業に挑戦し、作業の幅を広げていけるよう支援します。
- ・元氣な挨拶はもちろんのこと、スタッフ間やお客様へ、思いやりのある言葉遣いを意識していきます。

2) 地域とのつながりについて

就労移行支援（ライム）

- ・他事業所や他機関、企業等との情報共有や関係づくりに努めます。
- ・これまでのつながりとこれからのつながりを大切にします。

就労継続支援B型（ライム、なないろカフェ）

（ライム）

- ・地域交流会を開催し、地域の方々と交流する場を設け、法人や事業所内での活動の啓発をしていきます。
- ・地域の事業所のイベントに参加したり、地域交流会に招待したりし、他事業所との関係作りに努めます。
- ・地域の方と顔を合わせたら、元氣にあいさつをし、今あるつながりを継続・強化して大切にします。

（なないろカフェ）

- ・拡販と障がい福祉啓発の両側を促進するため、SNS での発信は継続しながらもサイネージを使用し、なゆた浜北を利用する地域のみなさまにも情報を発信します。
- ・ライムからミシンを移設し、「刺繍×なないろカフェ×地域」でできることを検討し、実施します。
- ・なゆた浜北や地域の事業所と良好な関係作りをし、イベントのコラボレーション企画を行い、お店を盛り上げていきます。
- ・飲食スペースを開放したり、食事会等の要望に応じて対応したり、利便性を高め、且つお客様にとって身近に感じられるお店作りをします。

生産活動

項目	内容	売上目標 / 年
弁当	ぬくもりごはん、まかない丼、仕出し弁当の製造・販売	21,000,000 円
カフェ・雑貨	なないろカフェの運営、喫茶業務、雑貨・菓子類販売	7,000,000 円
請負業務	自動車、オートバイ部品等の組立、梱包、バリ取り	2,000,000 円
刺繍タオル	デジタルミシンでのオリジナル刺繍タオルの製造・販売	200,000 円

利用者工賃

	工賃見込（月額平均）	工賃見込（時給換算）
就労移行（ライム）	20,000 円	270 円
就労継続支援B型（ライム）	35,000 円	360 円
就労継続支援B型（なないろカフェ）	35,000 円	360 円

多機能事業所ループ奏（生活介護るるる 就労継続支援B型ららら）

基本方針

利用者自身が日々の生活を楽しく、穏やかに、充実しながら過ごせる・少しずつでも成長していくための支援を心がけていきます。

奏での活動の中で利用者のペースやニーズに合わせて出来る事から取り組んでいき、得意を伸ばし、はたらく事の楽しさや役割を担う達成感を得たりすることにより充実した日常を送ることが出来るよう支援していきます。また、活動の中には楽しいだけではなく、はたらく・同じことを続けるという忍耐力、家とは違う場所で過ごすための社会性など様々な力が必要になります。奏の中での活動を通し、個々に合った様々な力をつけたり、伸ばしたり出来るよう支援も行っていきます。

具体的活動内容

（生活支援）

奏での活動を充実した生活となるように、日々の積み重ねや活動を大切にしながら、楽しく活動できるエッセンスを交え、生活力や社会性の向上を目指し、活動に取り組んでいきます。

- ・集団生活の場を意識した生活、活動を送ってまいります。
- ・外出の機会を設け、季節を肌や身体で感じながら日々を過ごせる機会を設けます。創作活動も行い、玄関など事業所内に展示して事業所に季節の彩を入れていきます。
- ・排せつや食事のケアなどを通して、清潔に気持ちよく過ごせるようにしていきます。
- ・心身の不調について、困りごとについてなどを安心して話せる、落ち着いて過ごすための環境を整えます。
- ・一日の最後に「オフの時間」を設け、それぞれにリラックスした時間を過ごすことができるよう、活動を提供します。（生活介護）

（作業活動）

やりがいや責任感、積極性につながるよう、役割をもって作業に取り組むことができるような活動を心がけ、安心して取り組める環境にも配慮をし、活動に取り組んでいきます。

- ・企業様より頂いた部品組み立て等の請負作業を行います。
- ・学校のお昼休みの購買販売活動にも関わりを持てるよう企画をしていきます。
- ・企業様向けの無人販売の活動を行います。

（就労訓練活動）

作業のスキルだけでなく、社会生活の場面でも求められる様々なスキルが身につき、活かしていけるよう、日々の活動の中に溶け込ませながらお伝えしていきます。

- ・働く場所としての認識を持ち、マナーや言葉遣いなどをお伝えしていきます。

重点目標

1) 利用者支援について

- ・職員会議の時間を充実させ、より良い支援を模索し取り組みながら、生活介護「るるる」、就労支援継続 B 型「ららら」関係なく、奏として統一した支援を行い、安心して活動出来る環境づくりを行います。
- ・強度行動障害と言われる様々な事柄について丁寧に取り組み、利用者支援の質の向上を図ります。
- ・集団活動の場として社会性を身に付けつつ、お互いを思いやる、尊重し合える場を育めるよう活動していきます。

生活介護（るるる）

- ・作業を通して、ご自身が社会に参加をしていることを自覚し、家以外の自分の居場所として確立できる環境を提供していきます。
- ・作業の時間も大切にしつつ、作業以外の活動も意識して取り入れ、集団生活の中でも個人を大切に出来る仕組みを作ります。

就労継続支援 B 型（ららら）

- ・個々の目標や課題を明確にし、主体的に活動に取り組めるよう支援していきます。

2) 地域とのつながりについて

- ・事業所間の会議やイベント等に積極的に参画し、情報収集やつながりの構築・強化に努めます。
- ・散歩に出掛け、奏周辺の通信配布などに取り組みます。
- ・地域に出て活動することで、地域のみなさんに奏のことを知ってもらえるよう意識して行動します。

生産活動

項目	内容	売上目標 / 年
請負作業	自動車、オートバイ部品等の組立、バリ取り等	1,700,000 円
高校購買部	購買販売	550,000 円
販売	企業での食品等販売	550,000 円

利用者工賃

	目標工賃（月額平均）	目標工賃（時給換算）
生活介護（るるる）	3,000 円	100 円
就労継続支援 B 型（ららら）	10,000 円	150 円

※月額平均は、平均利用者数から算出

生活介護事業所さつき

基本方針

- ・本人が自分らしく安心して過ごせるよう個別性の高い支援と環境作りを行います。
- ・作業活動を通して役割や達成感を感じながら、やりがいを持てるように支援します。
- ・さつきの活動や利用者への理解が深まるように地域とのつながりを大切にします。

具体的活動内容

(作業活動)

- ・おからクッキーの製造・納品、下請け作業・納品等特性や希望に応じて作業内容や役割を調整し、安心して取り組める環境を整えながら利用者一人ひとりの頑張りを尊重します。
- ・担当する作業や1日のスケジュール等の情報についてホワイトボードを活用して見てわかるよう工夫します。
- ・ダイドードリンコ(株)とコラボし、近隣の企業内に設置した無人販売場所の運営に継続的に取り組みます。

(生活支援)

- ・ふれあいコンサート等発表の場に向けた活動や季節行事に合わせた創作活動、スポーツや音楽等のレクを通して1日の最後を楽しく過ごせる時間にします。また、利用者の興味や希望の理解に努め、外出や行事などの活動内容に反映させ、意欲につながるような機会を提供します。
- ・利用者の特性や状態に応じて、食事・排泄・口腔ケア・更衣等の日常生活動作の支援や見守り、声掛けを行い安心して過ごせるように生活支援を行います。
- ・定期面談や連絡帳を活用して支援内容や日々の体調変化等を家族と共有し、連携した健康管理に努めます。

重点目標

1) 利用者支援について

- ①行動面に配慮した個別性の高い支援を行うため、個別支援計画に具体的な方法と環境調整を明記し、随時見直しを行いながら、重度障害者加算対象者は支援計画シート等を活用し支援の質向上を図ります。
- ②集団活動の良さを生かしながら利用者一人ひとりの思いや興味関心を大切にし、個別活動を柔軟に組み合わせ、ふたり旅の目的と同様にやってみたい・行ってみたい思いの実現を支援します。
- ③ヒヤリハット事例を振り返り再発防止とリスク意識の向上に努めるとともに、利用者の特性に応じた事故予測と予防策を講じながら職員間の情報共有を徹底し安心安全な支援環境作りに努めます。

2) 地域とのつながりについて

地域との関わりを大切にし、障害者週間の啓発活動や移転を見据えたおからクッキーの配布を通して、地域への感謝を伝えながら障害理解の促進と良好な関係作りを推進します。

3) 家族同士のつながりについて

家族との信頼関係を大切にし、保護者会や交流会の開催、連絡ノートや面談等を通じて情報共有と相互理解を図り、家庭と連携した支援体制の充実に努めます。

生産活動

項目	内容	売上目標 / 年 (円)
おからクッキー	おから入りクッキーの製造、販売	1,300,000
請負業務	自動車、オートバイ等の部品組み立て、バリ取り作業	1,100,000
ウェルフェアマート	近隣企業内での無人販売	500,000
計		2,900,000

利用者工賃

	月額平均	時給換算
工賃見込額	4,500 円	100 円

生活介護事業所まつぼっくり

基本方針

- ・ 社会とつながる手段としての「はたらく」ことの意義を大切にし、本人の想いを中心としたはたらく環境づくりと、安心して過ごせる居場所づくりに努めます。
- ・ ひとりひとりの個性や強みを尊重した個別支援の充実を図るとともに、集団の力を活かした支援にも力を入れ、互いに認め合い成長できる集団づくりを目指します。
- ・ 建物の建て替えを見据え、地域の方々が自然に集い交流できる場となるよう、地域に開かれた事業所づくりを推進します。

具体的活動内容

（作業活動）

- ・ 定期的に新商品のパンを開発し、引き続き SNS を活用しながら販路拡大と顧客増加を図り、利用者の工賃確保につなげます。
- ・ 利用者の「はたらく」意欲や達成感を高めるため、個人ブランドの焼き菓子の開発に取り組みます。

（生活支援）

- ・ 利用者の発信を丁寧に受けとめ、利用者同士および職員とのコミュニケーションの時間を大切にします。
- ・ 毎月実施している体重・血圧測定を継続し、数値の変化を家族へ報告しながら健康状態の把握に努めます。
- ・ 健康維持のため、体操やストレッチの時間を設けるとともに、散歩活動を取り入れます。
- ・ 季節の行事を積極的に取り入れ、利用者が楽しみを感じられる活動を実施します。
- ・ 法人内の他事業所との交流を図り、スポーツ等を通じて体を動かす機会を提供します。

重点目標

1) 利用者支援について

- ・利用者の発信を丁寧を受けとめる姿勢を大切にし、コミュニケーション技術の向上に努めコミュニケーション保障と情報保障の充実を図ります。
- ・イラスト・写真・時計等の視覚的支援を積極的に取り入れ、利用者が自ら選択できる環境を整え、本人の意思決定を尊重します。
- ・ひとりひとりの想いを受けとめながら、利用者同士が互いに助け合い、成長できる集団づくりを目指します。
- ・これまで実施してきた行事やイベントの内容を見直し、利用者がより楽しみを感じられる活動を継続するとともに、外出の機会の拡充を図ります。

2) 地域とのつながりについて

- ・廃品回収を年に4回実施し、利用者も主体的に参加できる形で地域との交流を深めます。
- ・パンの配達や廃品回収の引き取りを通して、地域との継続的な関係づくりを行います。
- ・SNSを活用し、新作パンやイベント情報等の発信を積極的に行い、事業所の取り組みを広く周知します。

3) 新拠点での稼働に向けて

- ・新施設完成後のイートインのメニュー開発をしていきます。
- ・新施設完成後の動きを見据えて、下請け作業を増やしていきます。
- ・地域の方々が気軽に立ち寄れる交流イベントの開催を検討し、地域に開かれた事業所運営を目指します。

生産活動

項目	内容	売上目標 / 年 (円)
パン	パン、焼き菓子の製造販売	7,000,000
その他	イス脚カバーの製作販売・下請け作業	200,000
計		7,200,000

利用者工賃

	月額平均	時給換算
工賃見込額	17,000 円	300 円

放課後等デイサービス事業所あざみ

基本方針

児童福祉法に基づき、障がいを持った児童を対象として学校終了後と土曜日や祝日等の学校休業日に事業を行います。「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域を全て含めた総合的な支援を基本とし、子どもの発達過程や特性を理解した上で一人一人の状況に応じた子どもが持っている力を伸ばせるように支援していきます。子どもと支援者の信頼関係を築き、安心して過ごせる環境の中で少しずつ成長していく姿を家族と共有して喜びを分かち合っていきます。

具体的活動内容

1) 利用者支援に関する内容

- ・5領域とのつながりを明確化した個別支援計画に基づいて、職員間で具体的な支援内容を共有し、子どもたちが戸惑わないように統一した支援を行います。
- ・その日の子どもの状況に合わせて集団活動（動の遊び）、リラックス、安定のための個別活動（静の遊び）のプログラムを組み合わせた支援を行います。
- ・散歩、園庭等で自然と触れ合える機会を設け季節の変化を楽しみます（焼き芋、水遊び、草滑り花摘みなど）
- ・子どもの成長や年齢による気持ちの揺れや変化を捉え、寄り添い支援していきます。
- ・状況に応じた支援対応力の向上に向けて、支援者のさらなる連携を目指します。

2) ご家族及び関係機関等との連携に関する内容

- ・事業所での子どもの様子から職員が感じる変化や成長を日々のお迎え時や送迎時にお伝えし、家での様子を伺いながら日々の支援内容を共有していきます。
- ・全ての利用者が浜北特別支援学校に在籍している為、毎日の学校への送迎時の引継ぎや夏休みの情報共有の機会を継続していきます。
- ・浜松市障がい児放課後支援連絡協議会が開催する研修に参加し、支援の質の向上に努めます。

重点目標

1) 利用者支援に関する内容

- ・5領域とのつながりを明確化した事業所全体の支援内容を示す支援プログラムを作成します。
- ・強度行動障害のある方へのかかわりについて、法人ワーキング活動を活用して深めていきます。
- ・子どもたちの「やってみたい、作ってみたい」という気持ちを大切に受け止め、表現する楽しさや達成感を味わうことができるように支援します。
- ・子どもたちがことばや体の動き等自分なりの方法で気持ちを伝えたり、場面に合わせた言葉を発する力を身につけられるように支援します。
- ・子どもたちのがんばっていることや良いところを褒めることを意識的に取り組みます。言葉がけが必要な場面では伝え方に配慮し、その後気持ちが不安定にならないように支援します。

2) 地域とのつながり

- ・近隣の公園等を活用した散歩活動において、子どもたちが地域住民へ積極的にあいさつを行うことで、地域

理解と交流の促進を図ります。

- ・年1回、消防職員又は地域消防団の協力を得て避難訓練の見学・助言を受け、災害時に備えた関係構築を進めます。
- ・地域の他事業所と相互協力のもと、火災発生時の一時避難先としての避難及び受け入れ訓練を実施します。
- ・地域行事（照個屋等）へ参加し、地域住民との交流やふれあいの機会を創出します。
- ・事業所内での出張販売を活用し、子どもたちが地域の方と関わりながら買い物体験を行える機会を設けます。

3) ご家族及び関係機関等の連携について

- ・子ども今の様子や将来への心配などご家族の気持ちを聴く機会を定期的に作り一緒に考えていきます。
- ・保護者同士の交流の場を設け、理解やつながりが深まるような活動を実施し、安心して子育てができるよう支援します。利用者支援に関する内容

日中一時支援事業所あるば

基本方針

浜松市の地域生活支援事業として委託を受けて事業を行います。一時的に子どもを預かることで日常的に介助しているご家族の一時的な休息を目的としています。

具体的活動内容

1) 利用者支援に関する内容

- ・職員間で具体的支援内容を共有し、子どもたちが戸惑わないように統一した支援を行います。
- ・その日の子どもの状況に合わせて集団活動（動の遊び）、リラックス、安定のための個別活動（静の遊び）のプログラムを組み合わせた支援を行います。
- ・散歩、園庭等で自然と触れ合える機会を設け季節の変化を楽しみます（焼き芋、水遊び、草滑り花摘みなど）
- ・子どもの今の様子や将来への心配などご家族の気持ちを聴く機会を定期的に作り一緒に考えていきます。

2) ご家族及び関係機関等との連携に関する内容

- ・事業所での子どもの様子から職員が感じる変化や成長を日々のお迎え時や送迎時にお伝えし、家での様子を伺いながら日々の支援内容を共有していきます。
- ・全ての利用者が浜北特別支援学校に在籍している為、毎日の学校への送迎時の引継ぎや夏休みの情報共有の機会を継続していきます。

重点目標

1) 利用者支援に関する内容

- ・子どもたちの「やってみたい、作ってみたい」という気持ちを大切に受け止め、表現する楽しさや達成感を

味わうことができるように支援します。

- ・子どもたちがことばや体の動き等自分なりの方法で気持ちを伝えたり、場面に合わせた言葉を発する力を身につけられるように支援します。
- ・子どもたちのがんばっていることや良いところを褒めることを意識的に取り組みます。言葉がけが必要な場面では伝え方に配慮し、その後気持ちが不安定にならないように支援します。

2) ご家族及び関係機関等の連携について

- ・保護者同士の交流の場を設け、理解やつながりが深まるような活動を実施し、安心して子育てができるよう支援します。
- ・支援の質を高めるためにサービス等利用計画を作成する相談支援専門員との連携を大切に、各関係機関との情報共有に努めます。

はまきた地域活動支援センター

基本方針

利用される皆さんが、仲間との出会いを通して自分自身を知り、自分が持っている力を発揮しながら、地域での暮らしを豊かにしていくお手伝いをします

具体的活動内容

1) 基礎的事業

① 創作活動又は生産活動の機会の提供に関する内容

音楽鑑賞会、音楽クラブ、カラオケ、朗読カフェ、ちくちくクラブ、ゲーム会等

② 社会との交流の促進に関する内容

いっぷく、昼下がりのいっぷく、青春クラブ、外出等

③ 日常生活に必要な便宜を供与することに関する内容

パソコンクラブ、スイーツメモリー等

2) 機能強化事業

① 医療・福祉及び地域の社会基盤との連携強化のための調整に関する内容

新規及び現在の利用者に関する委託センターや計画相談事業所等との連携

② 地域ボランティア育成に関する内容

精神保健福祉センターボランティア講座受講生の受入、聖隷クリストファー大学ボランティア受入

③ 障害に対する理解促進を図るための普及啓発等の事業に関する内容

聖隷クリストファー大学社会福祉学部や静岡県厚生連看護専門学校での当事者発表

イエローレシートキャンペーン参加

重点目標

活動の拠点をみどりの樹本部に移して1年が経過しました。本部に活動拠点が移ったことによる利用者の減少はほぼ見られませんでした。今年度は、利用者個々のニーズや課題へ相談支援事業所と連携しながら、より丁寧に一つひとつのケースに向き合います。利用者や地域からの声を聴くことを大事に、日々のプログラム活動を行います。また機能強化的役割も意識しながら、積極的に人や地域とのつながりをつくります。

1) 基礎的事業について

(午前の活動)

- ・「まずは行ってみよう」と安心して来所できる雰囲気・場所の提供を行います
- ・参加する方々の思いを丁寧に聴きながら、本人の「どうしていききたいか」を一緒に考えていきます
- ・ステップアップも視野にプログラムを通して、必要な能力を身につけるお手伝いをします。

(午後の活動)

- ・利用者同士の会話やプログラムを共に過ごすことで、気分転換や明日への活力となり、地域活動支援センターが皆さんにとってリフレッシュできる場所にしていきます。
- ・利用者からの生の声、意見箱を設置することで日々のプログラムに反映できるよう、作成に取り組みます。

2) 機能強化事業について

- ・地活での出会いも大切にします。ボランティア、地域の人との活動を継続していくことで、顔なじみとなり、地活以外の場所でも会えた時は自然と話せる、支え合えるような関係を構築します。
- ・実習やボランティアの見学体験の受け入れ、近隣学校等への講演を積極的に行い、地域の施設とつながりを持ち、障がい福祉の啓発に努めます。
- ・利用時の様子で見慣れない状態や違和感があれば状況を把握します。関係機関と連携し、利用者が地域で生き生きと過ごしていけるよう考え、支援します。

特定相談支援事業所ぼるた

基本方針

障がい福祉サービスを利用されるみなさんが、自分らしくいきいきと充実した暮らしを送るためのお手伝いをします。その為に相談支援専門員として、各種障害福祉サービスを実施する事業所の最新状況や地域の社会資源等利用者にとって有益となる情報の収集に努めます。

具体的活動内容

一体的な管理運営を行う相談センターキャンパス、相談支援事業所ラルゴと利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を令和8年度も週1回開催します。

障がい福祉サービスの利用を希望される利用者や関係機関、行政等から依頼を受けて、ぼるたとして相談支援を開始します。プロセスに基づき、サービス等利用計画書を作成し、定期的にモニタリングを実施の上、必要に応じて計画内容を見直します。サービス利用計画更新時には、利用者本人・家族・サービス提供事業所等によるサービス担当者会議を開催します。状況に応じて受診同行や各種手続きのサポートも行っていきます。浜松市自立支援協議会、浜松市相談支援専門員連絡会へ所属し、定期的にそれぞれの機関の会議等に参加します。また、浜北、天竜障がい者相談支援センターに出向している相談員と定期的に地域情報の共有、各自のケースの把握等をするために、定期的に相談員全体の会議を行います。

重点目標

1) 利用者支援について

それぞれのケースの変化がある際は、事業所内で常に情報共有を図っていきます。困難ケースに関しては、担当相談員が一人で抱え込むことがないように、一体的に管理運営を行う事業所間で実施する会議の場や障がい者相談支援センター、基幹相談支援センターに助言を求めながら、利用者一人ひとりに寄り添った支援を考えていきます。

2) 外部機関との連携・相談員のスキル向上の取り組みについて

浜松市自立支援協議会、浜松市相談支援専門員連絡会等が実施する事例検討会や研修等に積極的に参加することを通して、地域課題を把握するとともに、相談員、事業所同士のつながりを作ります。相談業務を通して得られた地域の情勢や感じたこと、部会を通して抽出された地域課題等を法人内に発信することで、地域から求められる法人の役割を職員に意識してもらえるよう努めます。

また週に1回開催される相談センターキャンパス、相談支援事業所ラルゴとの定例会議において事例検討会、ケース共有、研修報告を継続し、相談員の知識・技術向上に努め、事業所が地域から求められる役割を全うすることができるよう努力を続けて行きます。